

CADCity Ver.13.51 機能アップマニュアル

CADCity Ver.13.51 機能アップマニュアル

目次

1.	基本機能.....	5
	・対応 OS.....	5
	・ウィンドウ操作.....	5
	・バインダーシート複写.....	5
	・表示設定.....	5
	・ツールビュー部品一覧から部品配置.....	6
	・10END/11END.....	6
	・ニュートラルモード選択要素の解除.....	6
	・CSB よく使うコマンドリスト (コマンドジャンプ).....	7
	・色選択ダイアログ拡張.....	8
	・右パネル / 図面情報.....	8
2.	ファイル.....	9
	・開く.....	9
	・連続出力 / カタログ出力.....	9
	・IMGPrinter2.....	9
	・DXF・DWG 入出力.....	9
	・DXF・DWG 出力.....	10
	・一括変換.....	10
3.	編集.....	11
	・枠選択 CSB.....	11
	・複写 / 移動 枠による表示.....	11
	・補助要素編集.....	11
	・変形.....	12
4.	電設.....	13
	・渡り配線.....	13
	・記号サイズ変更.....	14
	・サイズ算出.....	14
	・技術計算 18 年度版 (オプション).....	14
5.	シーケンス.....	15
	・回路複写・回路移動.....	15
6.	作図.....	16
	・接線.....	16
	・十字.....	16
	・平行寸法 要素間.....	16
	・円寸法.....	17
	・寸法変更.....	17
	・バルーン.....	18
	・吹き出し.....	18
	・文字置換.....	18

7.	補助	19
	・グループ操作	19
	・図形変更（塗潰し図形）	19
	・軸傾	19
	・システム設定 表示	20
	・システム設定 オーバービュー・ルーペ	20
	・システム設定 検出	21
	・システム設定 バインダー	21
	・寸法全般 自動で寸法変更を起動	21
8.	オプション (R 版カラーラスター)	22
	・R 版カラーラスター PDF 入力	22
9.	その他	23
	・詳細表示・設定ダイアログ	23

1. 基本機能

対応 OS

Windows 7に対応しました。

ウィンドウ操作

[基本操作 1/ ウィンドウ操作]

CADCity 終了時にウィンドウの最大化状態を記憶し、次回起動時に状態を再現するようになりました。図面ウィンドウを最大化している時に、他の図面を読み込んだ際も、最大化状態で開くようになりました。

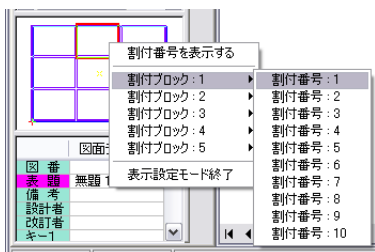
バインダーシート複写

[基本操作 1/ バインダーについて]

シート図面を複写する際に、複写元のシート図面のタブ色を引き継げるようになりました。

表示設定

ツールビューのプレビュー画面をマウス右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、表示設定した枠と番号を表示させることができるようになりました。表示設定画面が表示されているときは、そのエリアをマウスでクリックすると、表示設定されたエリアをウィンドウに表示します。

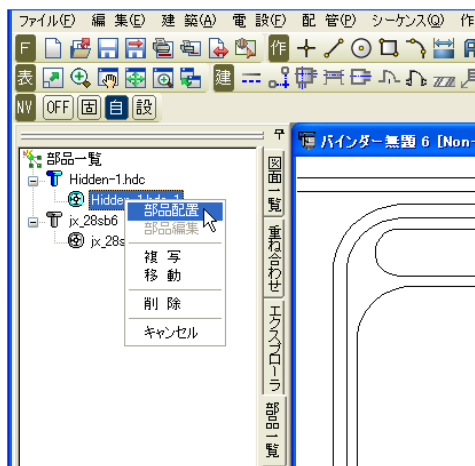


ツールビュー部品一覧から部品配置

[基本操作 1/ ツールビュー / 部品一覧]

ツールビュー / 部品一覧から部品を選択し、直接配置できるようになりました。(従来版は、ファイル選択ダイアログボックスが表示されるのみ)

選択した部品の倍率や配置角度値も CSB に自動的に取り込まれます。



10 END / 11 END

[基本操作 2/ 標準テンキーコマンドと短縮キー]

右パネルの表示オンオフに使用する 10END (表示オフ) と 11END (表示オン) で、前回状態を保持するようになりました。

操作方法は、10END で表示オフにし、再度 10END で元の状態で表示します。11END は従来通り全オンとなります。

ニュートラルモード選択要素の解除

[基本操作 2/ ニュートラルモードの編集コマンド起動]

選択されている要素をクリックすることで、選択の解除ができるようになりました。

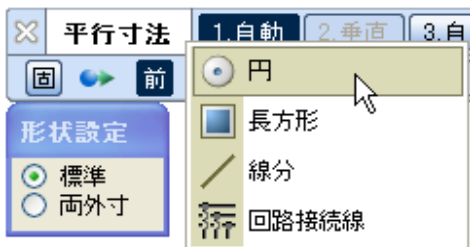
CSB よく使うコマンドリスト（コマンドジャンプ）

[基本操作 2/CSB の機能と操作]

実行中の CSB のタイトル部分をマウス右クリックすると、そのコマンドの直後に使用されたコマンドリストを参照し、使用頻度の高いコマンドを順に表示します。コマンドを選択すると、選択されたコマンドが起動します。

本システムを使い込んでくると、コマンド毎に使用頻度の高いコマンドがリスト化され、ワンタッチで選択ができるようになります。

「補助 / システム設定 / CSB」より、コマンドジャンプの履歴の設定ができます。



CSB

表示位置

自由 上側固定 下側固定

選択CSB

枠選択モード: 標準型 Station型

前回選択要素 BSキーで前回選択要素を検出する 最終複写要素を前回選択要素にする

枠選択時、点検出する ダイナミックハイライト時、単独検出でY/N確認する

固定値保持・前回値保持 標準設定

固定値保持 前回値保持

コマンドジャンプ

※コマンドジャンプとは、次に実行されるコマンドを予測する機能です
CSBタイトルをマウス右クリックするとジャンプメニューが表示されます

コマンドの履歴を記録する (現在のジャンプメニューを固定して利用したい場合はOFFにしてください)

メニューに表示する最大コマンド数 (1~20)

メニューに表示する最低カウント数 (1~)

※実行回数の低いコマンドを表示させたくない場合、カウント数を多くしてください

* CSB カラーテンプレートの機能は、本機能が搭載されたことにより、Ctrl + マウス右ボタンに変更となりました。

色選択ダイアログ拡張

[基本操作 2/CSB の機能と操作]

汎用色選択ダイアログボックスを拡張し、ユーザー定義色をダイアログに全表示できるようになりました。

拡張型への切り替えは、コマンドの設定から色指定で行います。

色選択ダイアログボックスのタイトルバーを右クリックすると表示されるポップアップメニューから切り替えることができます。

ここで拡張型に変更すると、右パネルにも反映されます。

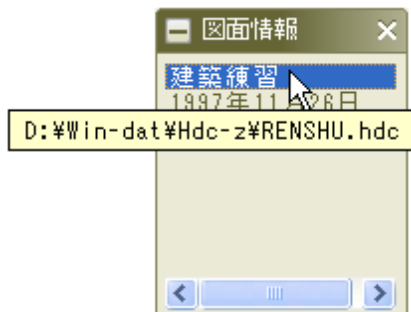
また、最近使った色が選択可能になりました。



右パネル／図面情報

[基本操作 4/ 図面情報]

右パネルの図面属性で、ファイル名にマウスカースルを合わせるとファイルの保存先パスがガイドチップで表示されるようになりました。



2. ファイル

開く

[ファイル / 開く]

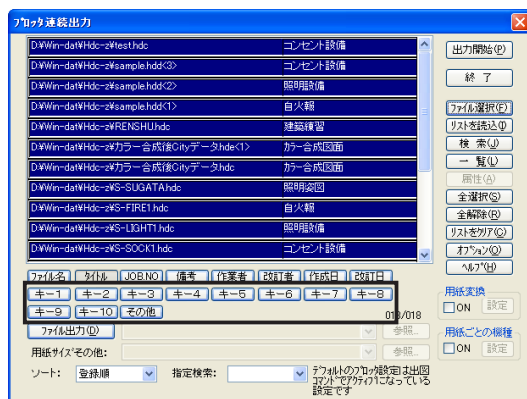
図面ウィンドウを最大化の状態で作業している時に、別の図面を開いたり、新規図面を作成した場合、新規に開かれるウィンドウも最大化状態で開かれるようになりました。

連続出力／カタログ出力

[ファイル / 連続出力]、[ファイル / カタログ出力]

ネットワークドライブ内のファイルを選択・出力できるようになりました。

図面属性のキー 4 ～ 10 に対応しました。



IMGPrinter2

[ファイル / IMGPrinter PDF・Tiff・XCDF 出力]

TIFF, PDF 出力に使用する IMGPrinter ドライバの新しいバージョン IMGPrinter 2 をリリースしました。Windows 7, Vista, XP で使用することが可能です。IMGPrinter 2 より、外部データ貼り付けで、Office2007 に対応しました。* 64 ビット OS には未対応です。

DXF・DWG 入出力

[ファイル / 外部入力 / DXF・DWG 入力] [ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

新しく変換条件設定のテーブルを追加する際、そのときの設定状態を引き継いで開始されるようになりました。

DXF・DWG 出力

[ファイル / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

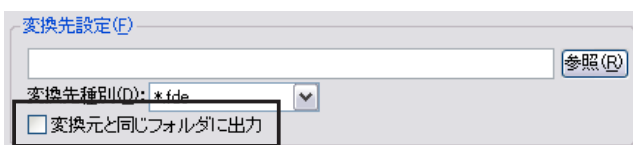
以下の寸法の出力に対応しました。

- ・円寸法（直径） / 中心線引出し、注釈型 1、注釈型 3
- ・円寸法（半径） / 注釈型 1、注釈型 2
- ・角度寸法 / 標準形状、交差

一括変換

[ファイル / 一括変換]

出力先を変換元と同じフォルダに設定できるチェックボタンを追加しました。



3. 編集

枠選択 CSB

[編集 / 枠選択の概要]

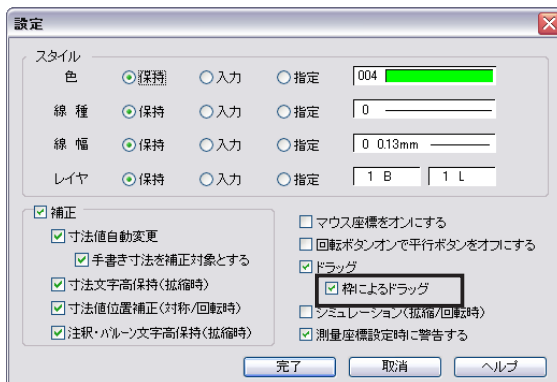
単独モードの時、ダイナミックハイライトされている要素を [Y/N] 確認せずに選択ができるようになりました。システム設定 / CSB の「ダイナミックハイライト時、単独検出で Y/N 確認する」をオフにします。

複写／移動 枠による表示

[編集 / 複写 / 複写] [編集 / 移動 / 移動]

複写もしくは移動する要素の要素数が 500 を超える場合に、ドラッグ中の要素を簡略化して表示できるようになりました。

[設定] の「枠によるドラッグ」を有効にします。



補助要素編集

[編集 / 消去 / 補助要素編集]

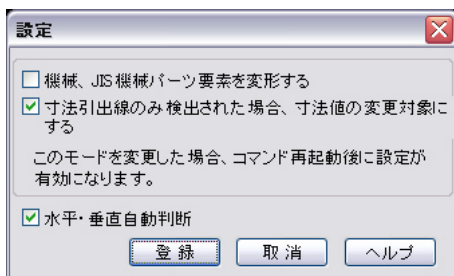
補助要素変更時、JW-CAD から取り込んだ補助線要素の要素線種を細破線 1 にするよう変更しました。

変形

[編集 / 変更 / 変形]

基準寸法で作図した要素の引出線部分のみを枠で囲っても、変形の対象とすることができるようになりました。

変形の設定から、[寸法引出線のみが検出された場合・・・]のチェックをオンにします。

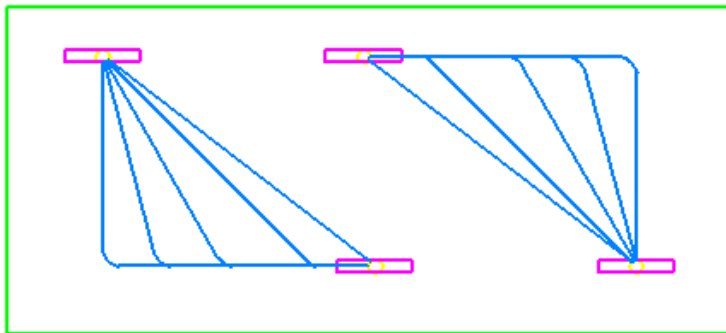


4. 電設

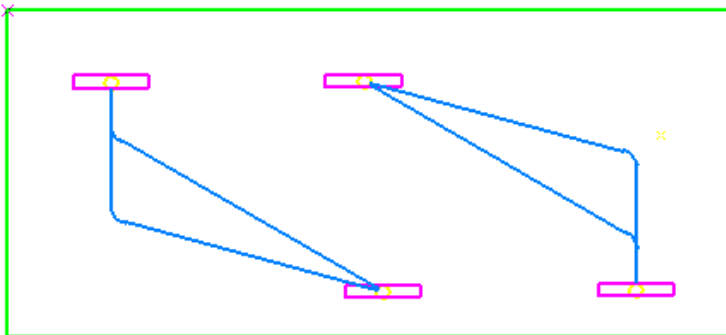
渡り配線

[電設 / 配線作図 / 渡り配線]

CSB の [5. 丸め1] モードで [7. 角度] が 90 度～ 135 度の場合、始・終点指定後の通過点指定時に作図画面上を右クリックする事により、丸め方向の作図パターンが切替えるよう変更しました。



従来のパターン



追加されたパターン

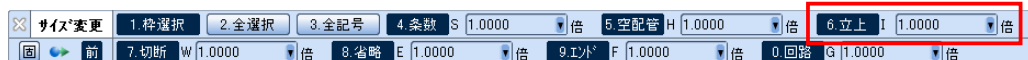
但し、設定ダイアログの「丸め1角度自動切替」がチェックオンの時に限ります。



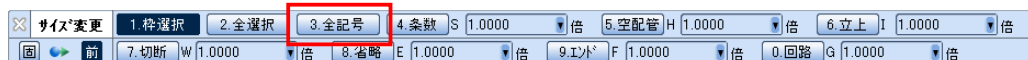
記号サイズ変更

[電設 / 配線編集 / 記号サイズ変更]

CSB に [立上] ボタンを追加しました。ボタンがオンの時、立上記号の選択が可能になります。ボタン右の欄に、サイズ変更の倍数を指定します。



[3. 全記号] マウス右クリックで、CSB の [4. 条数] ～ [0. 回路] までのボタンを全てオフにする機能を追加しました。



サイズ算出

[電設 / 電設補助 / サイズ算出]

DLB の電線種別欄の幅を広げました。



技術計算 18 年度版 (オプション)

[電設 / 技術計算 18 年度版]

Ver 2.0 に対応しました。

全項目共通

- Windows7 に対応しました。

照度計算書

- 行間のコピー・削除・上へ・下へ
ポップアップメニューの機能を追加しました。
- 空行挿入・複写・移動機能を追加しました。

短絡電流計算書

- 2 ページ目短絡電流系統図をクリップボードへコピーすることが可能になりました。

直流電源装置計算書

- 1 ページ目の蓄電池負荷特性の表をクリップボードへコピーすることが可能になりました。

テレビ共同受信設備出力レベル計算書

- 1 ページ目系統図をクリップボードへコピーすることが可能になりました。

5. シーケンス

回路複写・回路移動

[シーケンス / 編集 / 回路複写・回路移動]

複写もしくは移動する要素の要素数が 500 を超える場合に、ドラッグ中の要素を簡略化して表示できるようになりました。



6. 作図

接線

[作図 / 直線 / 接線]

これまでは対象のオブジェクトの種類をCSBから指定する必要がありましたが、本バージョンからオブジェクト指定時に自動で種類を認識するようになりました。[点円間]、[円上間]、[円上点]ボタンを削除。CSBによる種類指定は必要ありません。

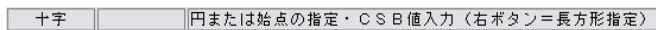


十字

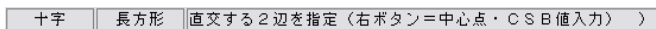
[作図 / 定型 / 十字]

操作モードの状態がメッセージ欄で確認できるようになりました。

フリーモード時



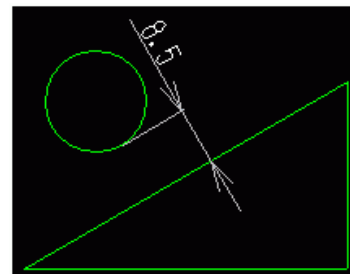
要素指定モード時



平行寸法 要素間

[作図 / 寸法 / 平行寸法]

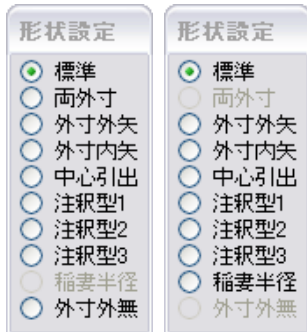
CSBに[4.要素]が追加されました。要素モードは、距離計測コマンドと同じように、点または要素の最短距離の位置に平行寸法を作図します。



円寸法

[作図 / 寸法 / 円寸法]

形状ダイアログボックスの項目で使用できない項目を網掛け（灰色）表示するよう変更しました。

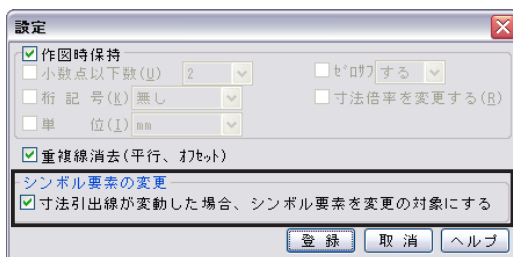


直径モード時 半径モード時

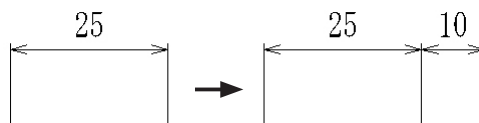
寸法変更

[作図 / 寸法 / 寸法変更]

シンボル要素から引き出された平行寸法の引出線に、位置変更や削除をすると、それに合わせシンボル要素も移動、削除されるようになりました。[4. 設定]に追加された項目「寸法引出線が変動した場合、シンボル要素を変更の対象にする」をオンにします。



平行寸法の外側の引出線に追加ができるようになりました。



バルーン

[作図 / 文字記入 / バルーン]

バルーンの各形状ごとに外径倍率を設定できるようになりました。

[D. 設定] に新たに追加された「外径倍率」から数値入力ができます。



吹き出し

[作図 / 文字記入 / 吹き出し]

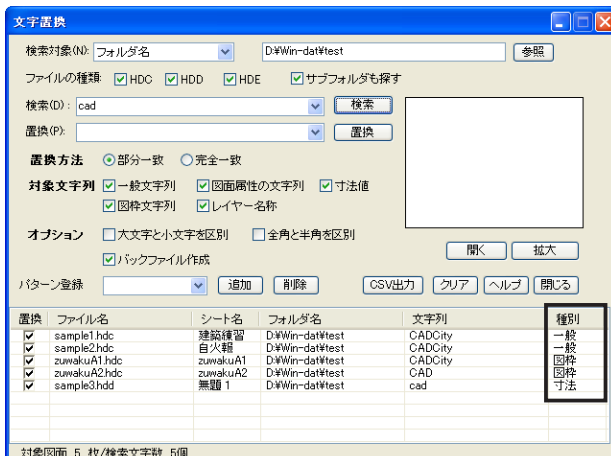
吹き出しを文字高指定で作図した後文字列を追加すると吹き出しの外に文字がはみ出ていましたが、本バージョンより文字列に追従して吹き出しの大きさが変わるようになりました。

文字置換

[作図 / 文字編集 / 文字置換]

結果ログ欄から文字列の種別が確認できるようになりました。

一般文字列＝一般、図面属性の文字列＝属性、寸法値＝寸法、図枠文字列＝図枠、レイヤー名称＝レイヤー（半角）

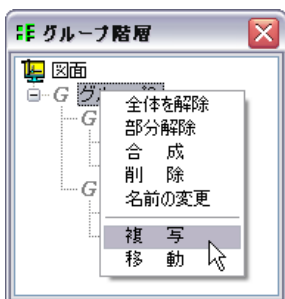


7. 補助

グループ操作

[補助 / グループ / グループ操作]

グループ操作コマンドで、グループ階層のトップグループを右クリックした時に表示されるポップアップメニューに「複写」「移動」が追加されました。



図形変更（塗潰し図形）

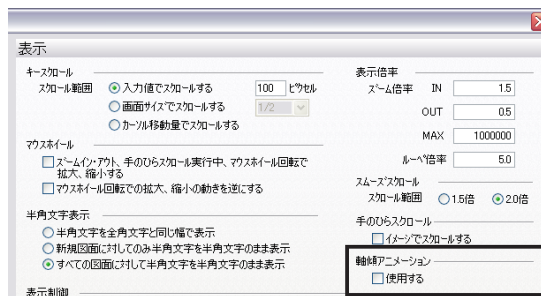
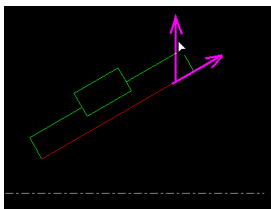
[補助 / 塗潰し図形 / 図形変更]

編集時、赤変する箇所を塗潰し領域の枠線のみにし、線色変更した際に変更後の色を確認できるよう変更しました。[2. 線色] ボタンがオフ時にも F3 の色指定ボタンを選択可能にし、その際に色指定された場合は、自動的に [2. 線色] をオンにするよう変更しました。

軸傾

[補助 / システム設定 / 表示]

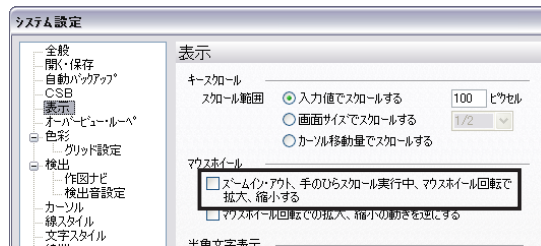
軸傾方向を分かりやすくするための、ガイドラインとなる矢印を表示するようにしました。また実行時に回転をアニメーションで表示する設定を追加しました。



システム設定 表示

[補助 / システム設定 / 表示]

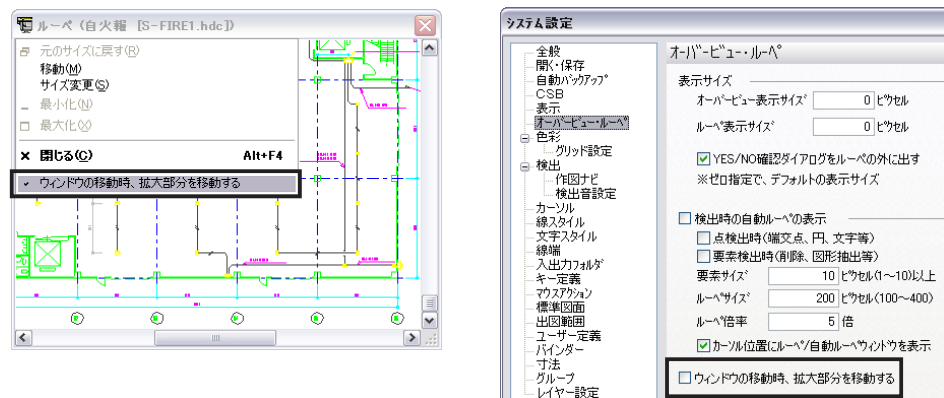
手のひらスクロール実行中にマウスホイールで図面の拡大 / 縮小ができるようになりました。



システム設定 オーバービュー・ルーペ

[補助 / システム設定 / オーバービュー・ルーペ]

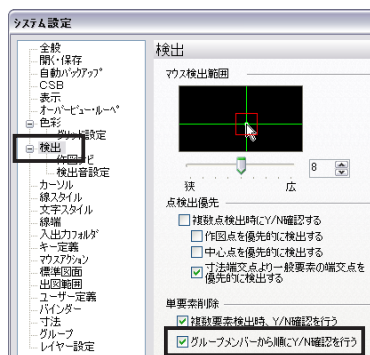
オーバービュー・ルーペ設定に「ウィンドウの移動時、拡大部分を移動する」が追加されました。設定を有効にすると、ルーペウィンドウを動かしたとき、下にある図形を表示しながら移動するようになります。



システム設定 検出

[補助 / システム設定 / 検出]

新たな設定項目「グループメンバーから順に Y/N 確認を行う」が追加されました。有効にすると、単要素削除で階層化されたグループのメンバーを指定した場合に一番外側のグループから指定した個別メンバーへ順に確認が行われるようになります。

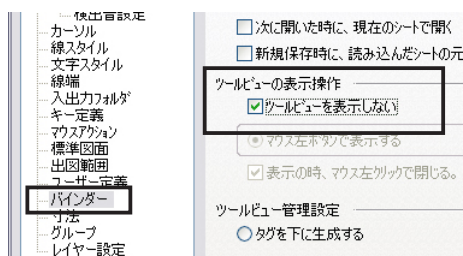


システム設定 バインダー

[補助 / システム設定 / バインダー]

ツールビューを非表示にする設定が追加されました。

設定をオンにすると、ウィンドウの左端をクリックしても、ツールビューは表示されません。ツールビューを表示させるためには、システム設定でチェックをオフにします。

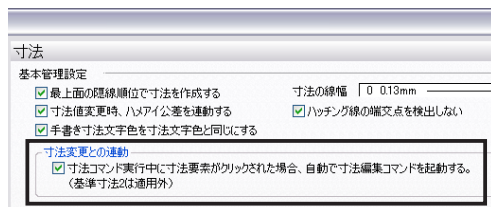


寸法全般 自動で寸法変更を起動

[補助 / システム設定 / 寸法]

寸法を作図した後（寸法コマンド実行中）に寸法線をクリックすると、自動で寸法変更コマンドを起動する設定を追加しました。

システム設定の [寸法] で、寸法変更との連動のチェックをオンにします。（この機能は基準寸法 2 は適用外）



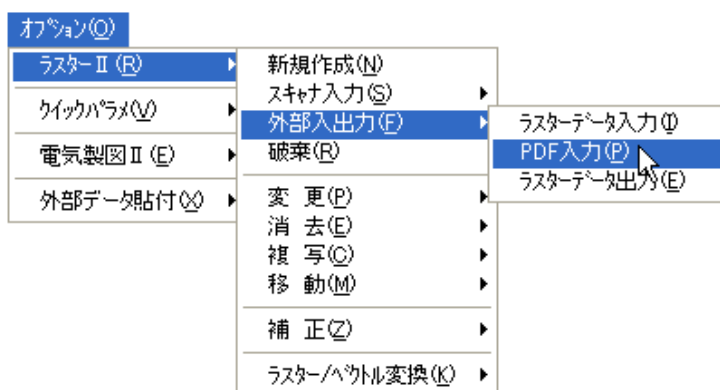
8. オプション（R 版カラーラスター）

R 版カラーラスター PDF 入力

[オプション / ラスター II / 外部入出力 / PDF 入力]

「PDF 入力」コマンドを追加しました。

PDF データを JPG データに変換し、新規作成したバインダーのシートに読み込み表示できるようになりました。



オプション「R 版カラーラスター」の機能です。ラスター II、R 版白黒ラスターオプションでは使用できません。

9. その他

詳細表示・設定ダイアログ

下記コマンド CSB の「記号」等コンボボックスを右クリックする事により、詳細表示・設定ダイアログを表示するよう改善しました。

建築：通り芯、躯体壁、間仕切壁、構造記号、スタッド、構造材、補助記号、畳割り、インサート、符号、扉、窓、戸、詳細扉、詳細窓、詳細戸

電設：渡り配線、連続配線、省略配線、レースウェイ、立上記号、配線切断、自動切断、切断修正、線端省略、エンド伏せ、配線注釈、回路番号、インサート、ケーブルラック、特殊ケーブル、計器信号、信号編集

作図：分割線、建築注釈

例：躯体壁

